

## 令和3年度 第1回下野市教育委員会臨時会議事録

日 時 令和3年12月15日(水) 午後2時35分～午後3時35分  
会 場 下野市立南河内第二中学校 ミーティングルーム  
出席委員 教 育 長 石崎 雅也 職務代理者 永山 伸一  
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫  
委 員 佐間田 香  
出席職員 教育次長 近藤 善昭  
教育総務課長 上野 和芳  
学校教育課長 田澤 孝一  
生涯学習文化課長 浅香 浩幸  
文化財課長 山口 耕一  
スポーツ振興課長 若林 毅  
教育総務課長補佐 神田 晃  
学校教育課指導主事 佐々木 功一  
南河内第二中学校校長 設楽 孝男  
南河内第二中学校教頭 伊東 道子

公開・非公開の別 公開

傍 聴 者 1 人

報道機関 0 人

議事録(概要)作成年月日 令和4年1月14日

討 議

「GIGAスクール構想について」

1. 開会  
(石崎教育長) 2. 教育長挨拶  
3. 議事録署名人の選任 熊田委員及び石嶋委員を指名  
4. 討議  
今回は「G I G Aスクール構想について」の討議を行う。  
はじめに、G I G Aスクール構想の概要及びスタート時について、資料1から6に基づき、事務局から説明を求める。
- (田澤学校教育課長) 資料に基づき説明を行う。  
資料1 下野市G I G Aスクール構想 (全体構想図)  
資料2 下野市導入のタブレット端末等について  
資料3 私とタブレットの7つの約束  
資料4 タブレットを使うときの注意点  
資料5 学習者用タブレット端末貸与についての保護者向けQ&A  
資料6 先生方に向けた資料  
「なるほど・ザ・G I G A!! S t e p B y S t e p」  
現在、準備段階から実際に活用が始まって、いよいよ家庭での持ち帰り学習も本格化する段階にある。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。  
(熊田委員) 以前、ほかの学校に学校訪問で行ったときに、夕方に充電をしても翌朝は充電ができていないと聞いたが、現在市内各校では十分充電はできているか。
- (田澤学校教育課長) 充電保管庫の設定に癖があることが原因であった。充電を開始するに当たり、リセットボタンを押さないと始まらない、という手順があって、そのことの周知を各学校に行ったので、それ以降充電がうまくできないという話は聞いておらず、解決したと思う。
- (佐間田委員) 私の家では大丈夫だったが、9月に各家庭に持ち帰ったとき、トラブルがあったり、児童生徒から使うことができないなどの声はあったか。
- (田澤学校教育課長) 私のほうで受けた報告では大きなトラブルはなかったが、具体的に担当の指導主事から報告する。
- (佐々木指導主事) 大きな混乱はなく、大体つながったようだが、Z o o mを接続したときに音声聞こえなくて映像だけ見えるなど、うまく接続できなかった人は各学校1、2名いた。再度接続をしたらうまくいったという話もあるので、何らかの理由で時々駄目なときがあるようだ。
- (佐間田委員) 保護者がいればどうにか使えたか。  
(佐々木指導主事) 印刷したマニュアルも配布したので、使い方が分からないということはない。
- (熊田委員) 2ページの修理の保険について伺ったが、使い始めて今まで修理は何件ぐらい出ているか。
- (佐々木指導主事) 正確な数字は把握していないが、インターネットにつながらな

くなったという報告を今まで何件か受けている。校内のLANにつないでいるが、つながらなくて修理をしたとか、修理とまではいかないが、少し不具合が生じたので直したとか、そういったケースは何回かある。端末自体が割れてしまったり、壊れてしまったりということに関しては、私の記憶の限り4、5件であった。タブレットにはケースが付いており、壊れにくくはなっているが、ケースをめくってカメラ等を使っている際に落とし、破損をしてしまった、という場合がほとんどであった。

(石崎教育長) 追加説明すると、iPadを使っているのは、管内5市町で下野市だけである。教育事務所は管内5市町を回っているが、本市視察時に、教育事務所の指導主事がタブレットの画面が大きいこと、画質の良さに感心していた。

(佐間田委員) 若いお母さん方のスマートフォンはiPhoneが多く、子どもたちも小さいころから触れているので、受け入れやすいと思う。配られてからは授業に意欲的になった。

(石崎教育長) 続いて、ガイドラインについて、資料7に基づき、事務局から説明を行う。

(田澤学校教育課長) 資料に基づき説明を行う。

資料7 下野市GIGAタブレット端末運用ガイドライン、バージョン2となっているが、バージョン1を出した時点で未定のものもあったので、確定した段階で整理し直したものとなる。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(熊田委員) イヤホンやヘッドセットは100円ショップでも買えると説明があったが、10年ほど前に子どものヘッドセットを買ったときはそこまで安くなかった。現在そんなに安くなっているのか。

(田澤学校教育課長) イヤホンにマイクが付いた携帯電話を買うと付いてくるタイプと同じものを、100円ショップで売っており、それを使うことができるので、大きな経済負担をお願いしなくても十分使えるものが手に入る。

(石崎教育長) 14ページ、アプリのインストールだが、有料アプリの場合どうなるのか。

(田澤学校教育課長) 現在、有料アプリについては想定していない。iPadについては無料のアプリが非常に良くできており、数も多いので、そちらを活用していく。有料アプリについて予算措置しているものは無い。

(石崎教育長) 学校のほうからとても有効なアプリだと連絡があったらどうするか。  
(田澤学校教育課長) 学校予算で対応してもらうことになる。

(石崎教育長) 学校で良い無料アプリを見つけた場合、ほかの学校にも広めていくのか。

(田澤学校教育課長) それはあり得る。そういった情報は広く募集していきたい。

(石嶋委員) 子どもがアプリを勝手にインストールできないようになってい

るのか。

(田澤学校教育課長)

できないようになっている。家庭に持ち帰ったときに学習ができなくなるので、Wi-Fiにつなぐ場合の設定だけはできるようにしている。アプリのインストール等については全部制限をかけており、ネットフィルタリングによって有害な情報にアクセスするような部分も止めている。学校にいるときと家庭にいるときとで大きな差はないように設定している。

(石崎教育長)

続いて、タブレット端末の活用について、資料8から11に基づき、事務局から説明を求める。

(田澤学校教育課長)

資料に基づき説明を行う。

資料8 GIGAタブレット端末の活用状況

資料9 eライブラリの活用事例（他自治体）

資料10 下野市モバイルWi-Fiルーター貸与スケジュール

資料11 令和3年度モバイルWi-Fiルーター貸与申請書

1月14日にルーター貸与をスタートできるように進めている。自宅のWi-Fi環境が整っている家庭は、自宅Wi-Fiを使うよう協力いただく。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(熊田委員)

資料11 令和3年度モバイルWi-Fiルーター貸与申請書、②申請理由について、申請者多数の場合、ア、イ、ウ、エの順で優先されるのか。

(田澤学校教育課長)

事務局としてはそのように考えている。

(石嶋委員)

資料8の事例だが、小学校は小規模校だと学年が単学級では、担任の先生が1人しかいない。中学校も南河内第二中でさえ、一学年3クラスぐらいで、各教科の先生も2人ぐらいしかいない。技能教科は1人しかいない。2人で3学年を受け持っているわけだから、担当授業は2学年にまたがってiPadを使った授業の準備をしなければならない。教材研究のほかにこれをやると、更に負担ではないかと思う。学校を超えて交流をして、授業の準備とか使い方の学び合いとか、研修の時間をとると、また負担が大きくなってしまいが、何かいい方法がないのか。

少子化によってクラスが減って教科部会もなかなか機能しない現状の中で、学校を超えたつながりと研修で、フォローしていく意欲的な実践が生かせるのではないかと思う。

(田澤学校教育課長)

そこが今後の課題というか、先生方の負担を少なくしていくため、力を入れていくことが必要と考えている。実際下野市はICT環境の整備は他市に先駆けて進んでいるので、これまでもiPadではないが、タブレット端末等を先行して活用した事例があり、その事例を蓄積した活用事例集を作って、学校に配布してきた経緯もある。実際にはiPadであろうが、今まであったタブレットであろうが、活用方法はそんなに変わらないので、更に周

知しながら行っていきたい。また校務支援ソフトが入っているので、そちらも活用しながら先生方と情報共有できるような仕組み、簡単にできるような仕組みを考えていければと思う。

(石崎教育長) 昨年度の臨時休業時、学校を超えて先生方が集まって教材を作ったりしていた。学校間の連携の雰囲気、土壌はできているので、是非教育委員会も音頭を取ってそちらの方も進めていただきたい。

(佐間田委員) タブレットを部活動に生かすことはできないのか。パフォーマンスの撮影やチームの作戦など、そういったものは入っていないのか。

(田澤学校教育課長) それは問題なくできると思う。実際に体育では、バスケットボールの練習の中でどういう動きをすればうまくパスはつながるのか、という形でタブレットの活用をした事例もある。実際、南河内第二中学校において部活動で使われた例はあるか。

(設楽校長) 今まで部活動で使った例はない。体育の授業で創作ダンスのときに自分たちで撮ってそれを見ながら修正していくというのは行っている。おそらく、貸出しが本格化してくるとできると思われる。部活動は今、時間外になっているので貸出しをしていない。

(石嶋委員) 1月からは可能なのか。

(田澤学校教育課長) 持ち帰りが進んでいくので、できなくはない。どのような運用がいいか学校と協議しながらよい仕組みを作っていければと思う。

(永山委員) 授業参観でタブレットの利用を拝見した。まだ始まったばかりなのでいろいろな可能性が秘められていると思う。その中でGIGAスクール構想で期待するのが、自主学習と学び直しである。先生方に全てお任せするのは難しい部分があるので、例えばある部分でつまずいている子は、自分でつまずいている部分は分かると思うし、先生方もその子がどこでつまずいているか分かると思うので、そういう部分の補習に使っていただきたいと以前から申し上げているところである。その折に、全部先生方にお任せするのは多分難しくなってくると思う。そこで学習ボランティアなどとセットで常に考えていただければと思う。そういう事例が各学校から出てくれば、先ほどから、教育長が言っているように、各学校の連携、あるいは成果についてのつながりというものを、互いに共有しながらいい方向へ進んでいくのかなと思う。臨時休業のときに、先生方が授業のビデオをつくったりしていたかと思うが、そういうものをそのときで止めるのではなく、これからも何年も続けていく。つまずいて足踏みをしている子どもがいれば、そこを助けてあげるようなことを期待している。

今日授業参観でびっくりしたのが、中学校の英語で仮定法をやっていたことである。私たちのころは高校英語の内容だった。しかも、高校英語で難しい文法である仮定法を習ったが、学校教育課長に聞いたら、小学校からの英語が始まっているため、どんど

ん内容が下に下りてきていると。ということは多分取り残される子も多いと思う。学習量が増えているということは取り残される子も多くなる。傍から見てこの子は取り残されているというのが、なかなか見つけにくいような分量にだんだんなってきたと感じるので、やはりここは学び直し、補習的な使い方を、先生方に研究していただきたい。また、指導主事の先生方にもそういった目線でGIGAスクール構想を研究していただければと思う。さらに教科書等の中で、抜粋されたものが提示される場合があって、「この全体を読みたい」と児童生徒が思うこともあると思う。そういった発展的なものについても、これはこういうところを調べるとこの先、例えばこれは新聞記事の一部抜粋だけでも、全体はこうやって読める、というような水先案内人的な方がいるといいなと思う。そのときに是非、地域の力を使って学習ボランティアのような方、そういったものに長けた方を探していただくと良いと思う。もっと学びたい子はその先に連れていき、つまりいている子は一緒に足踏みをしながら見てあげる大人が隣に居てくれるといいなと思う。GIGAスクール構想と並行して大人がいつも隣で見守ってあげるような進め方をしていただければいいなと希望している。

(田澤学校教育課長)

学校には何人か学習ボランティアは入っているが、そういう目線で支援がいただける方を発掘していきたい。学び直しとはまた別の話になるが、一点付け加える。端末はネット環境があればどこでも使えるので、現在サポートセンターでスマイル教室に通っている子どもたちのために、学校からタブレットを持ち出し、サポートセンターに配備している。サポートセンターでもe-ライブラリ等が使用でき、自分のペースで学びを進めるような使い方をしているので、学習の保障が少しずつできているかと思う。ここから更に広げていく。

(石崎教育長)

最後に、教育委員の皆様为本日の感想を伺いたいと思う。

(石嶋委員)

一番心配していた学校を超えた先生方の連携が既に行われているとのことなので、苦手な人もどんどん遠慮なく輪に入れるように、つながりをつくっていただければありがたいと思う。

(熊田委員)

授業参観で、タブレットでいろいろな活用があってびっくりした。また説明でもいろいろな使い方を聞き、私の想像の域を超えており素晴らしいと思った。先生にしても児童生徒にしても苦手な人もいると思うが、苦手意識が減るだけでもいいかなと思う。以前の教育委員会で町田市のいじめの件も対応していると報告を受けた。裏でこんなことができるか、興味があればどんどん様々なことができるかと思うが、やはり情報モラル教育が大切だと感じる。まず心を育てて、ネットであろうがなかろうがいじめを起こさないような子どもたちの人間関係をつくっていくことが求め

られると思うので、教育委員会と学校現場と協力してできればと思う。また、壬生町で緊急事態宣言の際に休校になり、オンライン授業等でやり取りをした保護者と話をしたが、低学年の児童は画面の前にずっと座っているのが厳しいようで、低学年の児童に対しての工夫が必要かと思う。

(佐間田委員) Step By Stepの中で先生も子どもたちから教わるような気持ちでと書いてあったが、正にそうだなと思った。頼れば頼った分、子どもは自分で学ぶと思うので、子どもたちを頼っていいと思う。

(石崎教育長) 私から一点。子どもたちはタブレットを預ければどんどん進んでいくという話があったが、若い先生方も同じだと思う。私ぐらいの年齢だと難しいと思われるが、若い先生方は私たちが思っている以上に長けている。石嶋委員が言ったようにこういった先生方を集めて学校間の壁を飛び越え、下野市のICT教育を進めていただけると、はるかにスピードは加速していくと思うので、お願いしたい。

次回の教育委員会は、12月16日(木)午後1時30分からの予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後3時35分閉会。

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人